

Message from Selectors



2人育児の日々、慌ただしいなかでも絵本でほっこり。娘が好きな本を抱えて持ってきたり、今も寝る前に息子と空想ストーリーを作ったり。絵本を通じたコミュニケーションで、わが家は毎日癒やされています。

蛭原友里



昔の遊びを伝えようとして、私が忘れていて、思い出そうとあやとりの本を開いて試すのですが、何度見てもわからない。そんな私を見かねて娘と一緒に本を見ながら考えてくれました。というのが最近の私と本と子どもの出来事。

岡崎裕子



長男は宿題がおそろそかになり困るほど本に夢中で、長女は友人と競うように図書室で本を借り、次女は自作の絵本を作っています。成長とともに本との付き合い方も変わりますが、本が一番身近なエンターテインメントということは昔から変わりません。

尾上菊之助



娘は気候の良い時期は野山や川で自然と戯れ、合間を見つけては本を読んだり絵を描いたり、工作にいそしんでいます。自然に触れ、自分で考え、時には自分の世界に入り込んで。将来振り返ったとき、今の経験が何かのきっかけになればいいねと話しています。

嘉納治郎右衛門



モデル

蛭原友里 えびはら ゆり

1979年生まれ。宮崎県出身。ファッション・ビューティ・ライフスタイルなど多数の雑誌・メディアに出演する、日本を代表するモデル。2021年に第2子出産。
蛭原友里オフィシャルサイト
<https://yuriebihara.com>



ピカソの絵本—あっちむいてホイッ!

結城昌子 構成・文
小学館 1,705円(税込)

目があっちを向いて、ゲラゲラ。こっちを見て、ゲラゲラ。子どもの感覚が自分と違うのがまたおもしろい。知っていたはずの絵の特徴や描かれた背景、作者の心境など、自分でも知らないこともあって、読み聞かせをしている自分も楽しくなるし、ためになります。



てぶ〜くろ

ガタロー☆マン 作
誠文堂新光社 1,320円(税込)

私も息子も、今まで読んだ絵本の中で最も笑ったうちの1冊! ウクライナの民話「てぶくろ」がテーマのお話なんですけど、文字も絵もとにかく笑っちゃう。このおもしろさは、絵本の次元を超えちゃった! 初めからずっとおもしろくて、最後は本気でふき出しちゃいます。



おばあちゃんの家 わたしの家

たかいひろこ 著
ポプラ社 3,300円(税込)

私の祖母の家は五右衛門風呂でしたが、子どもがその存在を知らなくてびっくり。昔ながらの暮らしや道具を視覚的に感じてほしくて、探してたどり着きました。今はネットでなんでも簡単に調べられるけど、当時の雰囲気も一緒に感じられるのは、絵本ならではの良さですね。



せかいいちまじめなレストラン

たしろさと 作
ほるぷ出版 1,540円(税込)

これはパパのオススメ。世界にたった一つのレストランで腕をふるうのは、とってもまじめなイタメーニョさん。注文をもらったら愛情たっぷり、一生懸命料理を作ります。平凡な毎日の繰り返しでも、実は誰かのためになっている。そんなことをそっと教えてくれます。

